

令和7年度進行管理・評価シート
 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)(令和3年3月29日認定)
 (最終変更 令和8年2月26日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の進捗管理及び推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 清閑亭活用事業	3
2 皆春荘整備活用事業	4
3 旧松本剛吉別邸整備活用事業	5
4 小田原文学館(本館・別館)整備活用事業	6
5 歴史的風致形成建造物整備活用事業	7
6 史跡小田原城跡保存活用・整備事業	8
7 指定文化財等建造物保存・公開事業	9
8 街かど博物館活用事業	10
9 小田原宿なりわい交流館整備活用事業	11
10 景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業	12
11 重点区域における街なみ環境の向上	13
12 文化財の総合的把握・保存活用事業	14
13 伝統行事・民俗芸能等保存継承事業	15
14 観光イベント支援事業	16
15 回遊性向上推進事業	17
16 伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業	18
17 職人育成等推進事業	19
18 旧保健福祉事務所跡地活用事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査及び指定、防災	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 小田原城址公園の魅力向上	23
2 歴史まちづくりカードの配布	24
3 歴史まちづくり出前講座の実施	25
4 歴史まちづくりに係る民間の取組	26
5 歴史的建造物の入館者数等	27

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
計画の進捗管理及び推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進にあたっては、市内部の横断的な体制を整えるとともに、歴史まちづくり法第11条に基づく、外部有識者らで構成する小田原市歴史まちづくり協議会を設置することで、計画的に進捗管理し、推進を図る。市内部の体制としては、文化部、経済部、都市部の主要課を事務局とし、小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議において、市内部における本計画の進捗管理及び事業推進に係る連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・4月に令和7年度第1回小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議、5月に令和7年度第1回小田原市歴史まちづくり協議会、10月に令和7年度第2回小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議、1月に令和7年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会を開催した。
 ・本計画に位置付けている各事業については、円滑に進めるため、適宜、事業担当課と個別に協議調整を行っている。
 ・令和7年度は計画の中間年度にあたることから、中間評価シートを作成した。

【定量的評価】

小田原市歴史まちづくり協議会の開催回数 R3:2回 R4:2回 R5:2回 R6:2回 R7:2回
 小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議の開催回数 R3:2回 R4:2回 R5:2回 R6:2回 R7:2回

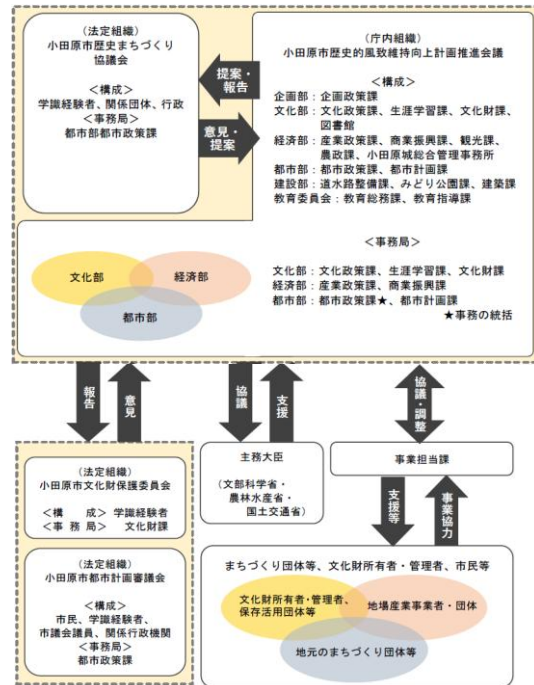
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○小田原市歴史まちづくり協議会

- 第1回協議会(開催日:令和7年5月14日)**
- 協議事項
 - (1)令和6年度進行管理・評価シートについて
 - (2)歴史的風致形成建造物(指定候補)の指定について
 - 報告事項
 - (1)中間評価の進捗状況について
 - (2)旧内野醤油店の整備等について
 - (3)小田原市文化財保存活用計画の策定について
- 第2回協議会(開催日:令和8年1月13日)**
- 協議事項
 - (1)歴史的風致形成建造物(指定候補)の指定について
 - (2)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の計画変更について
 - 報告事項
 - (1)令和7年度進行管理・評価シートについて
 - (2)効果測定調査について
 - (3)中間評価シート(素案)について

○小田原市歴史的風致維持向上計画の実施体制図



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本計画の重点区域には、本市が先進的に取り組んできた建築物や屋外広告物等に関する景観施策に基づいた景観計画重点区域が含まれており、今後本計画の推進と連動しながら、景観計画重点区域等の拡充を図ることにより、効果的に歴史的風致の維持向上を図ることが可能である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成17年度に策定した「小田原市景観計画」に基づき、市内における良好な景観形成のための規制誘導を行っている。
 【景観届出件数】(拠点型重点区域のみ)
 R3:18件 R4:14件 R5:22件 R6:21件 R7:17件
- ・景観上重要と思われる案件について、自然、歴史的建造物、街なみ、伝統や文化との調和を踏まえ、地域ごとの特性に応じた景観を形成するため、景観評価員に意見を求めている。
 【景観評価件数】(歴まち計画重点区域のみ)
 R3:2件 R4:0件 R5:2件 R6:2件 R7:6件
- ・景観計画重点区域内等の民有建築物については、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等における屋根及び外壁に係る設計費及び工事費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施している。
 【修景実施件数】
 R3:1件 R4:2件 R5:0件 R6:2件 R7:2件
- ・平成22年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物における規制誘導を行っている。
 【屋外広告物許可申請件数】(拠点型重点区域のみ)
 R3:45件 R4:26件 R5:51件 R6:58件 R7:32件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○重点区域内における良好な景観形成の事例(景観形成修景費補助金制度によるもの)
 「10.景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業(p.12参照)」

○景観評価員への意見聴取状況



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
清閑亭活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	清閑亭を、歴史・文化と自然に恵まれた小田原の豊かな暮らしを体感できる施設として、民間事業者等と連携し、魅力的な活用を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和3年12月24日に、(株)JSフードシステムと相互に協力し、提案内容を確実かつ円滑に事業化することを目的とする「清閑亭の利活用に向けた詳細協議に関する協定書」を締結し、行ってきた詳細協議が完了した。 ・令和4年度以降の清閑亭の利活用について、「食」を通じて「小田原ならではの文化」を発信するとともに、観光の回遊拠点の一つとして地域連携を図り、持続可能な形で建物を維持保全していくことを目的とした「小田原別邸料理 清閑亭」とする提案を採用した。 ・令和6年3月7日に「定期建物等賃貸借契約」を締結し、プレオープンによる営業を踏まえて同年3月25日から飲食店「小田原別邸料理 清閑亭」として一般を対象にして開業した。 ・令和7年度入館者数 8,432人 ・庭園及び主屋2階の一般公開に加え、ギャラリースペースや体験ワークショップの会場としての貸し出しも行っている。 【イベント等開催実績】 ・季節の飾り物(風まつり、灯りまつり) ・季節の飾りもの作り(ミモザボールづくり、お正月飾りづくり、クリスマスリースづくり)など			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○店舗写真			
			
主屋外観(夜間)		主屋内観(蔵カフェ)	
			
主屋内観(客室:幸)		ワークショップ開催	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
皆春荘整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業
計画に記載している内容	皆春荘を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、板橋散策のレストスペースとして、魅力向上のための整備を進める。また、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・主屋一部及び庭園の一般公開を実施している(令和3年10月～令和6年10月、令和7年3月～)。
 ・将来的・長期的な利活用の可能性を探るにあたり、多彩なノウハウを生かして施設の活用促進を行うため、当該業務を民間事業者(株式会社トープラ)に委託し、各種イベントを開催している(令和4年10月～)。
 ・令和3年度に実施した調査の結果に基づき、山縣有朋の自然観と作庭観を現代に伝える庭園の復元をテーマに令和6年4月から令和7年2月まで庭園の工事を実施した。
 ・山縣有朋が庭園を作庭したホテル椿山荘東京を管理運営する藤田観光(株)と、山縣有朋ゆかりの庭園の連携事業を推進するため包括連携協定を締結した(令和6年2月1日)。当該包括連携を記念し、令和7年1月に板橋にデザインマンホールを設置し、令和7年4月より皆春荘のデザインマンホールが描かれたマンホールカードを皆春荘で配布している。

【定量的評価】

入館者数 R3:1,877人 R4:3,308人 R5:7,414人 R6:2,333人 R7:10,036人
 イベント数 R3: 3回 R4: 7回 R5: 26回 R6: 10回 R7: 13回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○令和7年度イベント実績

日付	イベント等名	ジャンル	参加者数
4/26(土)～6/7(土)	お庭見学と呈茶体験(期間中全3回)	施設見学・ガイド	45
5/1(木)～5/6(火祝)	長山武夫写真展「野生を生きる」	展示	312
6/29(日)	お香づくりワークショップ	講座・教室	13
10/8(水)～13(月・祝)	天空書個展	展示	106
10/17(金)	庭屋一如研究会	施設見学・ガイド	8
10/19(日)	相模人形芝居下中座	その他イベント	30
10/24(金)～26(日)	「雲雀 くものすゝめ」正井 尊 展	展示	87
11/3(月)	狂言講座	講座・教室	19
11/27(木)～30(日)	えび久アート展	展示	120
11/29(土)	板橋の紅葉を楽しむ会	その他イベント	38
12/6(土)～7(日)	歴史的建造物観覧会	施設見学・ガイド	349
3/4(水)～15(日)	マンホールカード原画展	展示	173
3/19(木)～29(日)	小田原もあ展	展示	463

○庭園のようす



○マンホールカード



○受託者が作成したホームページ、SNS
<https://kaishunsou.com/>
<https://www.instagram.com/kaishunsou/>
<https://www.facebook.com/kaishunsou/>

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
旧松本剛吉別邸整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 旧松本剛吉別邸を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、観光交流拠点として、魅力向上のための整備を進める。また、現存する茶室等を活用し、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・主屋一部、茶室及び庭園の一般公開を実施している(令和3年10月～)。
 ・将来的・長期的な利活用の可能性を探るにあたり、多彩なノウハウを生かして施設の活用促進を行うため、当該業務を民間事業者(株式会社トープラ)に委託し、各種イベントを開催している(令和4年10月～)。
 ・令和3年度に実施した調査の結果に基づき、明治時代から現代まで続く日本庭園の再構築をテーマに令和6年4月から令和7年2月まで庭園の工事を実施した。

【定量的評価】

入館者数 R3:2,022人 R4:7,337人 R5:10,321人 R6:3,808人 R7:6,901人
 イベント数 R3: 10回 R4: 19回 R5: 31回 R6: 10回 R7:13回

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○令和7年度イベント実績

日付	イベント等名	ジャンル	参加者数
4/27(日) ～3/22(日)	論語の素読会(期間中全9回)	講座・教室	73
5/16(金)	茶道体験	講座・教室	7
5/17(土)	ねむねむお昼寝の会	講座・教室	8
5/28(水) ～6/8(日)	お地蔵様の密会 「己書展」	展示	310
10/12(日)	秋のフラワー アレンジメント体験	講座・教室	9
10/17(金)	庭屋一如研究会	施設見学・ガイド	7
11/15(土) 16(日)	小さな秋の音楽会	その他イベント	76
11/23(日)	UDCOD報告会	講座・教室	70
12/6(土)～7(日)	歴史的建造物観覧会	施設見学・ガイド	242
2/15(日)	ひなの道中フラワー アレンジメント体験	講座・教室	11
2/15(日)	おめでたいお茶づくりワークショップ	講座・教室	5
3/7(土)～8(日)	UDCOD報告会	講座・教室	55
3/28(土)	お香づくりワークショップ	講座・教室	10

○庭園のようす



○受託者が作成したホームページ、SNS
<https://matsumoto-goukichi.com/>
https://www.instagram.com/matsumoto_goukichi/
<https://www.facebook.com/Matsumotogoukichi/>

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
小田原文学館(本館・別館)整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金、市単独事業
計画に記載している内容	小田原文学館に付随する庭園の修景整備等を行うことにより建造物と一体的に歴史的風致形成建造物としての魅力を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・庭園整備の方向性等については、旧観の復元、建物との調和、美観の向上、管理機能の強化と安全性の確保、バリアフリー化、回遊拠点・休息施設としての利便性の向上の観点から、具体の整備内容について検討を進めており、令和4年度には令和3年度に取りまとめた改修整備の基本方針を踏まえ、詳細調査を行うとともに基本計画を策定した。
 ・策定した基本計画に基づき、令和5年度から令和6年度にかけて実施設計を作成し、令和7年度は庭園等整備工事に着手、当初予定より若干の遅れはあるものの、工事は順調に進み、8割程度まで進捗している。
 ・活用事業については、小田原出身・ゆかりの文学者の事績等を紹介する常設展(適宜更新)のほか、館蔵の貴重資料をスポット的に展覧する企画展を開催した。

【定量的評価】

入館者数 目標値:10,000人 R3:4,509人 R4:5,312人 R5:5,649人 R6:5,864人 R7:6,008人 (達成率:60%)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 本館常設展
- 「貴重資料特別公開」(令和8年3月)



小田原文学館 貴重資料特別公開 11

安吾と画乱洞とその周辺




今年春展100年を迎える荒口安吾は、二弟鎌倉の襲いで昭和15年(1940)1月に小田原に転居しました。安吾が小田原に居を構えていたのは翌年7月までのわずか一年半ほどでしたが、その間に安吾はさまざまな人物と交流しました。特に文壇デビューのきっかけを与えた牧野忠一の縁戚を通じて、小田原の著名人物 山内藤五郎と深く交際しました。藤野野矢の妹山内藤五郎の縁戚から、彼らとその周辺の作家の交流の様子をご紹介します。

2026
3/17水 - 5/24日

観覧時間 10:00-17:00 (入館は16:30まで)
 休館日 月曜日(祭日の場合は翌平日)
 入館料 大人250円、小中学生100円(団体割引あり)
 小田原文学館 〒250-0012 神奈川県小田原市南郷2-3-4
 問い合わせ: 小田原市立中央図書館 (0465-49-7800)

○庭園整備の検討対象箇所(一部)



荒廃した散策路



枯れた状態のままの苑池



建物の展望を阻害する植栽

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物整備活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物の指定の方針に基づき、歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理及び復原に対する費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・歴史的風致を形成する活動の拠点となるものや歴史的風致を形成する市街地環境の維持向上に寄与するものなど、歴史的風致形成建造物の指定条件を満たす建造物を、歴史的風致形成建造物として指定しており、また、所有者から要望があった場合、建造物の修理及び復原に対する費用を助成している。 ・令和7年度の指定に係る事項については、「薬膳喫茶KURA(旧朝倉邸)」及び「さくらい呉服店(旧安田貯蓄銀行)」の2件を指定候補とした。 ・歴史的風致形成建造物の指定表示板について、歴史的風致の維持向上に資する取組とするため、歴まち計画(第1期)で用いたデザイン(金属製)から、箱根寄木細工等の木工技術を用いた木製に変更した。 ・歴史的風致形成建造物の助成について、三淵邸・甘柑荘の整備補助助成を行った。			
【定量的評価】			
歴史的風致形成建造物の指定件数(累計)	R3:15件	R4:15件	R5:16件 R6:18件 R7:18件
歴史的風致形成建造物(指定候補)の件数(累計)	R3:12件	R4:14件	R5:15件 R6:13件 R7:15件
歴史的風致形成建造物の助成件数	R3:0件	R4:1件	R5:1件 R6:0件 R7:1件
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致形成建造物の指定候補追加 2件

○歴史的風致形成建造物の整備補助 1件



薬膳喫茶KURA(旧朝倉邸)

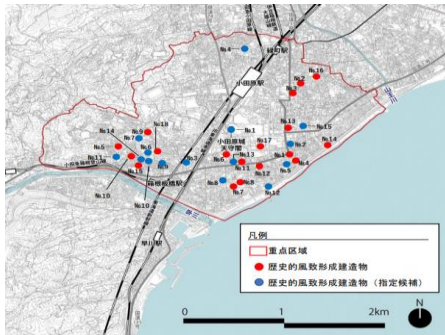


さくらい呉服店(旧安田貯蓄銀行)

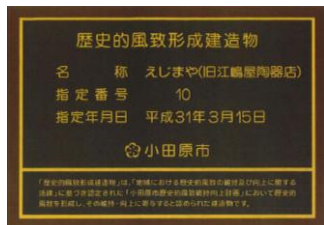


三淵邸・甘柑荘

○歴史的風致形成建造物の位置図



○歴史的風致形成建造物の指定表示板



歴まち計画(第1期)のデザイン



歴まち計画(第2期)のデザイン



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度
	令和7年度 現在の状況
史跡小田原城跡保存活用・整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 史跡等購入費補助金、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、指定文化財保存修理等補助金、市単独事業

計画に記載している内容 史跡小田原城跡を確実に保存し、未来に伝えるための基本方針として令和3年策定の『史跡小田原城跡保存活用計画』に基づき、小田原城址公園を中心とする本丸・二の丸や八幡山古郭・総構等の保存・活用・整備を図る。御用米曲輪の土塁の復元や蔵跡の平面表示、平場部分への遊歩道設置等の整備が終了した部分から順次一般公開を行う。史跡指定地内の地権者からの申し出の機会を捉え、史跡用地の買い取りを進め、順次活用と整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡内の樹木を伐採・剪定するなどして、史跡の保護と適正な管理を行った。
- ・「史跡小田原城跡御用米曲輪戦国期整備検討部会」の協議結果を基に御用米曲輪の埋蔵文化財調査を実施し、その状況を記録するための写真測量を行った。
- ・御用米曲輪の現況・調査経過に係る一般公開を11月15日(土)、2月15日(日)に実施し、3月20日(祝・金)には特別講座、特別見学会を行った。
- ・史跡内の民有地を新規に約197㎡公有化した。

【定量的評価】
 公有化済史跡指定地面積(累計) 目標値:69,234㎡ R5:68,779㎡ R6:69,037㎡ R7:69,234㎡ (達成率100%)
 ※公有地には本市所有の土地以外も含む

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



御用米曲輪の埋蔵文化財調査



御用米曲輪の特別見学会



公有化した土地
「城山地区」



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
指定文化財等建造物保存・公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 指定文化財保存修理等補助金、市単独事業

計画に記載している内容 県及び市の指定文化財建造物の所有者に対し管理奨励金を支出するとともに、修繕が必要な場合に補助し、修繕の指導及び助言をすることで、保存と管理の支援を図る。
 県及び市の指定文化財の建造物や国の登録有形文化財、小田原ゆかりの優れた建造物などの見学会や観覧会を NPO 法人等との連携を図りながら実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・指定文化財等への支援(修繕への補助等)については、相模人形芝居下中座に係る保存修理、寶金剛寺の両界曼荼羅図と本誓寺の阿弥陀如来立像の修繕、長興山の枝垂桜と須賀神社のクスノキの樹勢回復、近戸神社の社叢の整理に対して行った。
 ・指定文化財等の公開事業を次のとおり実施した。
 最新出土品展2025(令和7年11月1日～12月14日)
 遺跡調査発表会(令和7年11月15日)
 遺跡講演会(令和7年11月16日)
 文化財建造物の観覧会(令和7年12月6日、12月7日)
 遺跡見学会[御用米曲輪の特別講座・特別見学会](令和8年3月20日)

【定量的評価】

指定文化財等の修繕に係る補助件数(累計) 目標値: 40件 R5:10件 R6:15件 R7:21件(達成率52.5%)
 文化財建造物等公開事業来場者数 目標値:2,000人 R5:2,592人 R6:1,988人 R7:1,730人(達成率86.5%)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○指定文化財等の修繕



須賀神社のクスノキ



長興山の枝垂桜

○指定文化財等の公開



遺跡講演会



文化財建造物の観覧会(12/6、12/7)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
街かど博物館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に根差した店舗等を街かど博物館として認定して一般公開するとともに、街の歴史や魅力を知ってもらうことを目的とした体験教室やまち歩きツアーなどの事業を実施する街かど博物館館長連絡協議会の活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・街かど博物館体験ツアーについて、令和7年度は5回開催した(うち1回は最小催行人数を下回ったため中止)。 ・街かど博物館ファンクラブ会員へツアー開催及びイベント情報を知らせる「まちはく通信」を発行しており、令和7年度は、まちはく体験ツアーの周知のため、2回の発行を行った。			
【定量的評価】			
街かど博物館認定数(累計)	R3:17館	R4:17館	R5:18館 R6:18館 R7:18館
街かど博物館体験ツアー開催回数	R3:2回	R4:5回	R5:5回(うち2回中止) R6:5回 R7:5回(うち1回中止)
街かど博物館体験ツアー延べ参加者数	R3:22人	R4:40人	R5:38人 R6:31人 R7:21人
街かど博物館館長連絡協議会開催回数	R3:3回	R4:3回	R5:2回 R6:3回 R7:3回
街かど博物館ファンクラブ会員数	R3:648人	R4:665人	R5:683人 R6:723人 R7:760人
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○街かど博物館館長連絡協議会 第1回(通算第72回):令和7年6月3日(火) 18:30～20:00 ・令和6年度 収支決算、事業報告について ・令和7年度 収支予算、事業計画について ・街かど博物館体験ツアー(秋)について ・街かど博物館の展示会について(意見交換) 第2回(通算第73回):令和7年8月7日(木) 18:30～20:00 ・街かど博物館体験ツアー(秋)について ・スタンプラリーの商品券の取扱いについて 第3回(通算第74回):令和8年1月21日(水) 18:30～20:00 ・街かど博物館体験ツアー(春)について ○街かど博物館体験ツアー 秋(10月・11月・12月)、春(2月・3月)にツアー実施 ・令和7年10月18日(土) 早川地区、海と山のなりわいを知るツアー(募集人数:14名) ・令和7年11月22日(土) 海の恵みを満喫!体験まちはくツアー(募集人数:10名) ・令和7年12月13日(土) 小田原の伝統と今を体験!まちはくツアー(募集人数:15名) ・令和8年2月21日(土) おだわら雛の道中と華やぐ街博めぐり(募集人数:15名) ・令和8年3月28日(土) 春満喫!桜のお城と団子の街博ツアー(募集人数:20名)			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
小田原宿なりわい交流館整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 昭和7年(1932)に建設された旧網問屋を、誰でも立ち寄れる休憩所として、また小田原の地場産業に関する情報発信の場として整備し、市民や観光客へ無料で提供している。官民連携により誘客及び回遊拠点としての機能と魅力を高めるため、耐震補強を含めた再整備ののち、リニューアルオープンを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・管理運営業務については、令和7年8月1日(金)のリニューアルオープンに伴い、新たな管理事業者として一般社団法人小田原市観光協会に委託し、まち歩きコンテンツを導入するなど地域と一体となった管理運営を行っている。
 ・令和6年度は、耐震補強等改修実施設計業務に基づき耐震改修工事を実施(～令和7年5月30日完了)。
 ・令和7年度は、耐震改修工事完了後、令和7年8月1日(金)のリニューアルオープンに向けて公募型プロポーザルを実施するなど準備を進め、リニューアルオープンした。

【定量的評価】

入館者数	R3:38,102人	R4:40,120人	R5:43,321人	R6:20,314人	R7:40,845人
自主事業の開催数	R3:4回	R4:8回	R5:9回	R6:3回	R7:29回
イベント会場(2階及び広場)の利用回数	R3:30回	R4:62回	R5:83回	R6:27回	R7:119回
開館日数	R3:364日	R4:364日	R5:365日	R6:140日	R7:239日

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○各種団体との連携事業

(1)耐震改修工事

- ・令和6年8月19日(月)より耐震改修工事に伴う臨時閉館
- ・令和7年5月30日(金)、耐震改修工事完了



(2)リニューアルオープン事業

- ・令和7年8月1日(金)、リニューアルオープン
- ・令和7年8月1日(金)、オープニング式典実施
- ・令和7年8月1日(金)～3日(日)、各種オープニングイベント実施



(3)観光との連携事業

- ・なりわい交流館にて来訪客に小田原ちょうちんの製作体験の実施
- ・ちょうちん製作ボランティアの会が製作体験を実施
- ・製作体験 令和7年度 開催回数:38回 体験人数:476人



(4)まち歩き体験事業

- ・毎日午前10時30分及び13時30分から30～40分のまち歩きを希望者に提供
- ・まち歩き体験 令和7年度 都度開催 体験人数:168人



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業
計画に記載している内容	景観計画における4つの拠点型重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区、かまぼこ通り周辺地区)において、景観形成の方針に基づく景観修景に対する助成等を行うことで、潤いとやさらぎのある景観や歴史的資源を活用した落ち着いたと風格がある景観の形成を促進させる。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

・拠点型重点区域の景観形成の方針に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対し、「景観形成修景費補助金」により経費の一部を助成することで、景観の形成を図っている。
 ・令和7年度は2件実施。

【定量的評価】

景観形成修景費補助件数 R3:1件 R4:2件 R5:0件 R6:2件 R7:2件 累計7件(達成率35%)
 ※目標値:20件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○景観形成修景費補助事

①籠清本店資材庫改修工事(かまぼこ通り周辺地区)

・外壁塗装、縦格子設置、1階外壁及びサッシセットバック、その他ベンチ、植栽設置



②T様店舗改修工事(小田原駅周辺地区)

・軒金属板貼り、縦格子設置、1階外壁セットバックし、引き違い戸設置、その他ベンチ、のれん、植栽設置



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
重点区域における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 都市構造再編集中支援事業、市単独事業

計画に記載している内容 かまぼこ通り周辺地区、銀座・竹の花周辺地区、板橋・南町周辺地区においては、歴史まちづくりの機運が高まってきていることから、地区住民等とともに『小田原市景観計画』や『歴史的建造物活用エリアコーディネートプラン』を踏まえ、ハード及びソフト事業を展開していき、地区の街なみ環境の向上に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○良好な景観形成に向けた取組
 ・令和7年度は、かまぼこ通り周辺地区内の店舗(資材庫)で景観形成修景費補助金を活用し、外観の修景を進めた。外壁塗装、縦格子設置、1階外壁及びサッシセットバック、その他ベンチや植栽設置を設けることにより、連続性のある街なみ景観を形成することができた。

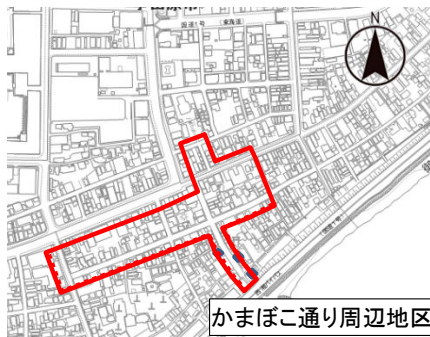
○道路事業
 ・かまぼこ通り及び板橋・南町周辺地区(旧東海道)において、街なみ環境の向上に資する道路改良(景観に配慮した舗装整備等)を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画重点区域に位置付けたエリア



かまぼこ通り周辺地区



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的把握・保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 指定文化財には至らないものの、地域にとって宝ともいえる文化財について、官民で協力しながら総合的に把握する仕組みを構築するとともに、必要な資料調査を実施する。また、これを踏まえつつ、『小田原市文化財保存活用地域計画』の策定に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原市郷土文化館では、平成29年7月に石造物調査会、令和元年6月に古写真整理の会が市民ボランティアにより発足し、文化財に対する理解を深める機会となっている。現在、石造物調査会13名、古写真整理の会22名がボランティアとして参加している。
 ・石造物調査会は市内久野・府川の悉皆調査を行った。古写真整理の会では郷土文化館が収蔵している昭和期の小田原市街地写真約300点を整理した。
 ・小田原市文化財保存活用地域計画の策定作業に伴い、文化庁の視察を受け入れた。
 ・令和7年12月に文化庁長官の認定を受け、令和8年2月に小田原市文化財保存活用地域計画を発行した。

【定量的評価】

文化財の把握に係る調査件数(累計) 目標値:10回 R4:2回 R5:4回 R6:6回 R7:8回 (達成率80%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

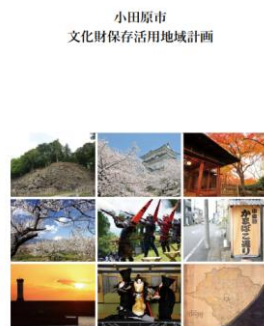
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文化財保存活用地域企画の策定



文化庁による視察(令和7年10月8日)



文化財保存活用地域計画と概要版



○市民ボランティアによる文化財の総合的把握



古写真整理の会による調査の様子
(撮影場所を特定し、地図に記録する
令和7年4月15日)



石造物の会による調査の様子
(府川地区の石造物悉皆調査の様子
令和7年4月19日)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統行事・民俗芸能等保存継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 本市を特徴づける神社の祭礼等伝統的な行事の認知度を高める情報発信に努めるほか、必要に応じて学識経験者等の指導や助言を得ながら、神輿や山車の現況調査を進め、祭礼を支える用具類の維持を支援していく手立てを検討する。市内各地で継承されている小田原囃子の無形の民俗文化財としての価値を明らかにし、市の文化財指定に向けての研究を進める。民俗芸能の保存活動団体に対し、活動の周知や後継者育成のための発表会など普及啓発や保存の取組を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原民俗芸能保存協会主催「後継者育成発表会」を令和7年11月9日(日)に三の丸ホール(大ホール)で開催した。
- ・国庫補助事業「地域文化財総合活用推進事業(文化芸術振興費補助金)」である第22区自治会所有の山車修繕に対し、計画の進捗管理や技術的指導を行い、無事事業が完了した。
- ・令和7年度に発足した相模人形芝居調査委員会に参画し、令和9年度完了を目途に県内4市共同で調査事業を行った。

【定量的評価】

後継者育成発表会の参加者数及び観覧者数 目標値:400人 R5:806人 R6:578人 R7:422人(達成率106%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和7年度第1回相模人形芝居調査委員会の模様(令和7年5月13日)



第22区自治会所有の山車修繕



小田原民俗芸能保存協会「後継者育成発表会」(令和7年11月9日)

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
観光イベント支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市最大の観光イベントである小田原北條五代祭りや小田原ちょうちんまつりなどの観光イベントを主催する(一社)小田原市観光協会を支援し、安定したイベント開催の実現を図る。 観光イベントでは、コンテンツの一つとして神輿や小田原囃子などの伝統的な活動が披露される。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・小田原北條五代祭りは、北条五代などに扮した武者隊や鉄砲隊などが市内を勇壮に練り歩く、本市最大の観光イベントである。また、パレードでは神輿や小田原囃子も披露される。令和7年度は、前年に引き続き3名の城主役ゲストに加え、小田原に縁のある幕内力士の阿武剋閑に出演いただき、祭り全体を盛り上げた。また、スペシャルステージイベントとして、小田原市及び八王子市、寄居町の観光協会が、「北条三兄弟」未来への約束としてセレモニーを実施した。北條五代祭りの来場者数は、24万人であった。 ・小田原ちょうちんまつりは、歴史に名を残す「小田原ちょうちん」をシンボルとしたイベントであり、小田原城本丸広場では市内の小学生が製作した手作りちょうちん約1,500個を一堂に集め展示発表するほか、小田原ジュニアバンドによる演奏、小田原囃子競演会や神輿パレードが実施された。			
【定量的評価】 観光協会が開催したイベント数 R3:16回 R4:15回 R5:15回 R6:14回 R7:4回			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○第60回小田原北條五代祭り(令和7年5月3日開催)			
			
○小田原ちょうちんまつり(令和7年10月13日開催)			
			

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
回遊性向上推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物などへの案内板等の整備及び維持管理を行い、市民や来訪者の回遊性を高める。併せて、歴史的建造物等の情報、史実等のストーリーや回遊ルート等を紹介する散策マップを作成する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・案内板については、踏査により設置状況を把握したうえで整備を実施しているところである。
 ・回遊ルートや施設の情報等を紹介するウォーキングタウンおだわら散策マップの西部版を改定中。なお、散策マップは東部版、中央版、西部版の3種類となっており、観光案内所や観光施設、郵送などで配布している。

【定量的評価】

案内板の整備(新設及び修繕)件数(累計) 目標値:10件 R3:1件 R4:2件 R5:5件 R6:7件 R7:10件 (達成率100%)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○案内板の整備(令和8年3月整備)



修繕前



修繕後



修繕前



修繕後

○おだわら散策マップ中央版(令和8年3月発行)



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 伝統的工芸品産業産地組合助成事業では、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う後継者・従事者研修事業及び需要開拓事業に対して助成を行う。
 また、地場産業PR支援事業では、小田原・箱根地域の木製品産業における技術の向上及び販路開拓、情報発信を目的としたイベント『小田原・箱根「木・技・匠」の祭典』に対し補助している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・担い手の育成や伝統技術の継承を目的に、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業(従事者・後継者育成事業、販路開拓事業)に対し助成した。

・小田原・箱根「木・技・匠」の祭典は隔年開催の事業であるため、令和8年度のイベント開催に向けて、令和7年6月25日を皮切りに令和8年3月末までに9回の準備委員会を開催した。

【定量的評価】

展示会・見本市への出展者数 目標値:33社 R3:30社 R4:23社 R5:36社 R6:43社 R7:63社

小田原・箱根「木・技・匠」の祭典来場者数(隔年開催) 目標値:8,000人 R3:開催なし R4:6,500人 R5:開催なし R6:8,500人 R7:開催なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○組合による従事者・後継者育成事業

①寄木製品の試作研修

【日 程】 令和7年9月29日、10月2日、9日、16日、24日 計5日間

【講 師】 露木 清勝、石川 一郎

【参加者数】 19名(延べ34名)

②手道具類の実技研修

【日 程】 令和7年10月30日、11月7日、13日、20日、12月2日 計5日間

【講 師】 露木 清勝、市川 一郎

【参加者数】 18名(延べ32名)

○組合による販路開拓事業

①伝産協会設立50周年企画展

【日 程】 令和7年6月20日～7月3日

【場 所】 青山スクエア

【出展社数】 3社

②COCO JAPAN

【日 程】 令和7年7月1日～8月31日

【場 所】 トラストタワー

【出展社数】 6社

③大阪・関西万博 実演

【日 程】 令和7年8月23日～24日

【場 所】 メディアセンター

【出展社数】 6社

④JTCW2025ワークショップ

【日 程】 令和7年10月17日～30日

【場 所】 GINZA HAKK 木の香

【出展社数】 3社

⑤ホテル椿山荘ロビー展示

【日 程】 令和8年1月8日～3月3日

【場 所】 椿山荘

【出展社数】 3社

⑥銀座名匠市

【日 程】 令和8年2月18日～23日

【場 所】 松屋銀座

【出展社数】 9社

⑦常設展示(通年)

伝統工芸青山スクエア、アンテナショップWAZA屋における常設展示販売

○小田原・箱根「木・技・匠」の祭典

準備委員会の開催:9回



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
職人育成等推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業、市単独事業
計画に記載している内容	NPO 団体や歴史的建造物の所有者等と連携し、歴史的建造物の保全やまち並み環境の形成を図るとともに、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
・歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人を育成するため、伝統工法に通じた職人の育成等を目的として設立された「NPO法人おだわら名工舎」への業務委託を行っている。令和7年度の業務内容は、次のとおり。 1 実践型職人育成研修(高校生校外実習) 2 旧保健福祉事務所跡地 過去に設置した板塀の更新 3 高校生ものづくり技術指導 4 歴史的建造物の価値評価、日常の維持管理、改修修繕等に関する相談に対する助言	
【定量的評価】	
職人育成研修の実施件数(のべ参加者数)	R3:3件(48名) R4:4件(81名) R5:3件(52名) R6:2件(50名) R7:1件(41名)
職人育成研修の相談受付件数	R3:30件 R4:44件 R5:38件 R6:28件 R7:20件
研修に参加した高校生の進路状況	R3:9名/13名 R4:6名/13名 R5:0名/6名 R6:8名/14名 R7:9名/9名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○旧保健福祉事務所跡地



工事前



工事中(研修中)の様子



工事後



調査風景



②



③

①外壁劣化状況確認
 ②内壁劣化状況確認
 ③柱現状確認(過去に設置された柱を補強するための支柱が機能していないことが判明した)

○皆春荘及び旧松本剛吉別邸のベンチ製作



大工研修中の様子



皆春荘



旧松本剛吉別邸

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
旧保健福祉事務所跡地活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 旧保健福祉事務所跡地に多目的広場と駐車場(小田原文学館及び旧松本剛吉別邸)を整備する。
 将来的に西海子小路周辺の歴史的風致の魅力を高める歴史、文化等の情報発信や回遊性の向上に寄与する施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和7年度については、引き続き施設整備を視野に入れながら用途地域の規制を踏まえ、旧保健福祉事務所跡地の利活用を検討した。
- ・整備内容については、第7次小田原市総合計画における第1期実行計画期間内(令和8～10年度)での具体化を目指し、検討を進めていく。
- ・当該用地の地域住民等によるまちづくり活動と連携しながら、具体的な活用を検討する上でベースとなる方向性を示すための調査業務について、その予算(令和8年度)を要求した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○整備イメージ

検討中

○まちづくり活動の様子



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の調査及び指定、防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 小田原市文化財保護委員会の指導と助言を踏まえ、必要な文化財調査を進めるほか、学術的な価値が高く、緊急性が高いものから市指定文化財の指定等を行っていく。また、市域全域を網羅できるような地域別の多様な文化財の資料調査に努める。
 文化財のうち有形文化財等については、火災や自然災害等により毀損、滅失する恐れがあるため、被災リスクの軽減を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和7年4月24日付で3件を市指定文化財に指定した。
- ・専門家を招き、中央図書館所蔵の古文書に関する調査を行った。
- ・指定文化財所有者から管理状況の報告を受けた際、防災意識と日常点検の重要性を啓発した。
- ・文化財防火デーにあわせ、松永記念館での消防訓練と各所での防火指導を実施した。
- ・史跡管理嘱託員が定期的に史跡小田原城跡を見回り、除草・清掃など保存管理業務を行った。

【定量的評価】

市の指定文化財件数(累計) 目標値:119件 R5:116件 R6:116件 R7:119件(達成率100%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

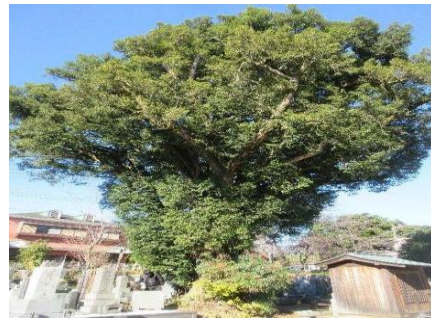
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文化財の調査



中央図書館所蔵の古文書調査(令和7年8月14日)



市内の樹木調査(令和7年12月24日)

○文化財の防災



文化財防火デー(消防訓練 令和8年1月27日)



消防本部による防火指導(消防設備等点検)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
小田原城来場者3000万人記念	令和7年4月1日	神奈川新聞
松永記念館特別展	令和7年4月12日	神静民報
たてももの巡り-済生堂薬局小西本店	令和7年5月3日	読売新聞
籠清本店で初の作品展	令和7年6月24日	タウンニュース
寺山神社の鹿島踊	令和7年7月21日	神奈川新聞
なりわい交流館リニューアルオープン	令和7年7月29日	神奈川新聞
小田原文学館北条秀司特別公開	令和7年8月6日	神静民報
小田原の魅力を発信 市民まち歩きツアー	令和8年2月4日	神静民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和7年8月に歴史的風致形成建造物のなりわい交流館が、耐震改修工事を終了し、リニューアルオープンしたことがひろく報道されていた。
 ・上記のとおり、行政や民間からの積極的なプレスリリース等による各種メディアの報道により、本市の歴史的風致に対する市民等の関心が高まり、認知度の向上に寄与している。

【定量的評価】

市が各種メディアに取り上げられた件数 R3:188件 R4:133件 R5:143件 R6:168件 R7:161件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

累計入場者3000万人を記念し、開城されていく御節

小田原 城さん無料
天守閣 入場者3000万人記念

「小田原」「城」さん無料
天守閣 入場者3000万人記念

令和7年4月1日付 神奈川新聞

別荘テーマの企画展 26日
耳庵生誕150年記念で 松永記念館

令和7年4月12日付

耐震化終え再始動
小田原宿なりわい交流館

かながわワイド

令和7年7月29日付 神奈川新聞

自筆原稿など特別公開
劇作家の北条秀司 とも関わり

小田原文学館

令和7年8月6日付 神静民報

市民まち歩きツアー
小田原の魅力を紹介します

令和8年2月4日付 神静民報

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

小田原城址公園の魅力向上

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・小田原城や周辺施設を活用した誘客のため、天守閣特別展として、令和7年11月1日から令和8年1月18日にかけて「天守を描く―若原水心 城線画の世界―」を開催した。令和8年3月1日からは「武者の装い ―鎧と兜を中心に―」を開催している。(令和8年5月31日まで)

【定量的評価】

小田原城天守閣入場者数 R3:374,506人 R4:524,201人 R5:589,485人 R6:605,373人 R7:587,171人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



天守を描く
―若原水心 城線画の世界―
(令和7年11月1日
～令和8年1月18日)



武者の装い
―鎧と兜を中心に―
(令和8年3月1日
～令和8年5月31日)

項目 歴史まちづくりカードの配布

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・歴史まちづくりの魅力をもっとPRするため、平成30年度から「歴史まちづくりカード(通称:歴まちカード)」を配布している。
 ・本市の歴史的風致に係る象徴的な写真や情報を掲載しており、本市の歴史まちづくりの認知度向上に寄与している。
 ・令和5年4月から市内の歴史的建造物である「松永記念館」の写真を用いたデザイン(第2版)に一新した。令和6年3月下旬からは、市内の歴史的建造物である「清閑亭」の写真を用いたデザイン(第3版)に一新するとともに、より有効的な情報発信のため、配布場所を追加して開始し、令和7年度は令和6年度を踏襲して、継続して情報発信を行った。

【定量的評価】

歴まちカード配布枚数 R3:3,696枚 R4:133枚 R5:4,840枚 R6:4,949枚 R7:7,481枚

歴まちカード配布場所

- R4:5か所(小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、小田原文学館、UMECO)
- R5:5か所(小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、旧松本剛吉別邸、観光交流センター)
- R6:6か所(小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、旧松本剛吉別邸、観光交流センター、清閑亭)
- R7:6か所(小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、旧松本剛吉別邸、観光交流センター、清閑亭)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



歴まちカード第1版
【平成30年度～令和4年度】



歴まちカード第2版
【令和5年度】



歴まちカード第3版
【令和6年3月下旬から】

各地を訪れて歴史風情の魅力を持ち帰り

全国版 歴まちカード

配布場所一覧

「歴まちづくりカード」とは、歴史を題材とした象徴的な写真や歴史的なまちづくり情報を掲載したカードパンフレットで、現在全国で3種類発行されています。各歴史まちづくり地区の特色に合わせたデザインで配布しています。カード配布先を掲載し、全国の歴史まちづくり地区を案内しています。

都道府県	地区名	配布場所	配布枚数
東京都	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草神社	100
	浅草	浅草橋	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
東京都	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100
	浅草	浅草寺	100

全国版歴まちカード配布場所一覧(別紙様式)

全国版歴まちカード配布場所一覧
パンフレット(国土交通省作成)

評価軸⑥-3
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史まちづくり出前講座の実施

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・市民等を対象とした出前講座を実施し、本市の歴史まちづくりについて認知度向上を図っている。

【相洋中学校1年生向け出前講座】

・令和7年9月17日に相洋中学校の1年生5名を対象に本市の歴史まちづくりについて授業を行い、本市の歴史的資源や取組に興味をもっていた。

【本市新採用職員向け出前講座及びまち歩き研修】

・令和7年10月3日に本市新採用職員38名を対象に、市職員として、知っておくべき歴史的資源やその背景等についての理解を深めるとともに、観光資源の利活用について学ぶことにより、基本的な知識の習得と創造的思考力の醸成を図るため、歴史まちづくり出前講座及びまち歩き研修を実施した。出前講座では歴史的風致維持向上計画を中心とした本市の歴史的資源等についての講義を行い、まち歩き研修では、本町・南町周辺を散策した。

【市外からの来訪者に向けた歴史まちづくりの取組説明】

・令和8年1月20日に埼玉県東松山市の市民48名、1月28日に藤沢市の市民15名、2月26日に川崎市の市民25名を対象に本市の歴史的資源や取組について説明を行った。

【令和7年度関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議】

・神奈川県県土整備局都市部都市計画課の主催で、令和7年10月2日～3日に関東甲信越の県・政令市の都市計画担当者を対象とした会議が群馬県桐生市にて開催され、この中で、2日にWeb会議を行い、3日に桐生市の現地視察し、桐生市及び各都市の歴史的資源や取組への理解を深めた。

【定量的評価】(9月末時点)

出前講座参加者数 R3:93名 R4:38名 R5:42名 R6:57名 R7:43名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



小田原市の歴史まちづくり



令和5年10月5日(木)
都市部 まちづくり交通課

2. 小田原市歴史的風致維持向上計画



3. 小田原市の歴史的風致形成建造物

～指定番号⑤「松永記念館」～

戦後の電力再編成を担った実業家で、茶人「耳庵」としても知られた松永安左衛門の邸宅として造営された、近代欧寄風建築の老練荘をはじめ、敷地内には歴史的建造物が点在する。書院、数寄屋に加え、土間や板の梁を備えた田舎家が並び、耳庵が求めた茶の湯の精神を現在に伝えているという点が貴重といえる。

本館は耳庵が蒐集した古美術品を一般に公開するために建てた美術館で、1階は展示室、2階は広間と茶室から成る。

無任庵は、耳庵の旧邸・柳瀬山荘内にあった。築200年の農家の古材を用いたものと伝えられ、耳庵の「田舎家」趣味の集大成ともいえる建造物。

葉雨庵は、実業家で茶人でもあった野崎瓜太が狭白小路の別邸「自怡荘」内に設けた茶室で、大目になりをいれた床柱など、造形的個性が強い空間である。



出前講座資料(抜粋)



令和7年10月3日開催
本市新採用職員向け出前講座の様子

評価軸⑥-4
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史まちづくりに係る民間の取組

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【小田原早川上水をつなぐ会の活動】

・板橋地区において、小田原早川上水(小田原用水)の保全及び、上水と地区の歴史・文化を広く伝えるため、令和4年度に地元の有志が団体を立ち上げ、その活動の一環として、板橋地区にある早川からの取水口付近の環境整備(除草や雑木の伐採)を行っている。これにより、取水口付近の景観が向上し、市民や来訪者が上水の流路や説明板などを観覧できるようになった。

・環境整備活動とともに、上水に関する勉強会や上水沿いの現地調査を行い、上水の成り立ちや歴史を研究している。

・今後は、子供を含めた地域の人々に上水を伝える活動を展開していく予定。

・また、当該団体と事業の所管課が、保存・活用を進めている旧内野醤油店について、情報共有、意見交換を行った。

・令和8年2月7日から12日まで、おだわら市民交流センター—UMECOにて「小田原早川上水をつなぐ会3周年記念企画展」を行い、取組の発表やまち歩きを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

整備後の状況



小田原早川上水をつなぐ会3周年記念企画展の様子



評価軸⑥-5
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史的建造物の入館者数等

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることにより、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着を深めるだけでなく、小田原固有の風情が多くの人々に伝播し、歴史的建造物や伝統文化の継承、交流人口の拡大・観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○歴史的建造物の施設入館者数 ※詳細は下記を参照。

○県内自治体間、認定都市間との連携

- ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施
- ・歴史的景観都市協議会の加盟、総会等への参加
- ・関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議への参加 など

○歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の指定

・歴史的風致形成建造物(指定候補含む)を指定することで、市内に残る歴史的建造物の保存・活用、街なみの保全が推進されている。

【定量的評価】

歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の件数 第1期計画:23件 R3:27件 R4:29件 R5:31件 R6:31件 R7:33件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○施設入館者数の推移(単位:人)

○成果指標(第2期計画)

指標	参考		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	第1期計画 (後期5年) 平均値	H30 (新型コロナウイルス感染症蔓延前)										
小田原城天守閣	582,022	603,318	374,506	524,201	589,485	605,373	587,171					
松永記念館	16,879	22,342	11,583	14,266	17,326	19,770	18,834					
清閑亭	24,471	25,712	19,277	休館中	休館中	6,989	8,432					
小田原文学館(本館・別館)	6,802	8,585	4,509	5,312	5,649	5,864	6,008					
旧内野醤油店	606	780	418	619	休館中	休館中	休館中					
旧松本剛吉別邸	7,054	6,070	2,022	7,337	10,321	3,808	6,901					
小田原宿なりわい交流館	35,689	43,756	38,102	40,120	43,321	20,314	40,845					
菅春荘	2,156	2,322	1,877	3,308	7,414	2,333	10,036					

※入込観光客数については、暦年(1月1日～12月31日)の集計値。
※小田原宿なりわい交流館は新築改修工事終了後の8月1日からの入館者数。

○県内自治体間、認定都市間との連携



湘南邸園文化祭パンフレット



総会の状況



まち歩き状況

第52回歴史的景観都市協議会総会(松本市)の様子

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 令和7年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時： 令和8年1月13日	
(コメントの概要)	
<p>(1) 皆春荘の管理者から「認知度が低いことが非常に悔しい」と聞いた。 また、私が乗車したタクシーの運転手が皆春荘を知らないということが非常にショックであった。特にタクシーなどは観光地において道案内を兼ねるため、歴史的建造物の認知度を向上させることが重要になるのではないかと考える。</p> <p>(2) 民間の歴史的建造物を含め、各施設が連携して認知度を高めていくことが重要である</p> <p>(3) 小田原文学館の庭園工事について、田中光顕が建てた当時の庭に復元するところが、十分に周知されていない。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>(1) 効果測定調査によって認知度が明らかになったため、更なる情報発信に努めていく。</p> <p>(2) 歴史的建造物を回遊するまち歩きマップの作成や連携企画の実施などを検討していく。</p> <p>(3) 工事現場の看板に工事内容を記載する対応をとるようにいたします。</p>	